



甲斐市の現状について（要約）	「ゼロカーボンシティ」のテーマ	「ゼロカーボンシティ」の理想像	実現化する手法の提案
<p style="text-align: center;">良いところ</p> <p>○高速道路が便利である。 ○大型ショッピングセンターなどがあり、買い物に便利である。 ○みだい公園など、公園には緑があり、管理されている。</p> <p style="text-align: center;">悪いところ</p> <p>●歩道が狭い・少ない。 ●自転車道が少ない。 ●空き家・空き店舗が多い。 ●街路灯・防犯灯が少なく、暗い。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>【甲斐市の課題】 ★「地域コミュニティの希薄化」、「防災への対策」が大きな課題となっている。</p>	<p>【メインテーマ】 人にやさしい まちづくり</p> <p>(サブテーマ) →空気が良くて、水がおいしい、住みやすいまちづくり →みどり・花と道路がマッチングしたまち</p> <p>(ゼロカーボンシティに取り組む分野)</p> <p>○自転車交通 ○公共交通</p> <p>○甲斐市の地域資源（自然・森林の環境）</p> <p>○エネルギー</p>	<p>1) 自転車道の整備を促進する。</p> <p>2) コミュニティバスの利用を促進する。</p> <p>1) CLT(直交集成板)を普及させる。 2) CO₂が発生しない木材を使い、燃えにくい建築物をつくる。防災対策にもつながる。 3) 公園内の遊具、ベンチなどの園内施設に廃材を利用する。 4) 公園の中に木陰をつくる。</p> <p>1) 全戸に太陽光パネルを設置する。ただし、景観には配慮する必要がある。</p>	<p>“ゼロカーボンとは何ぞや？”を、未来の甲斐市のために、学校教育の現場へ普及・周知活動を行っていく必要がある。</p> <p>1) 市民（特に若い世代）への自転車のルール・マナーを教育の場で勉強させる。情報を知らせる。 2) 利用しやすくするため、バスのルート・運行本数を増やす。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>★自動車利用を減らす効果が期待される。</p> <p>1) 市内にCLT 製造など、伐採林・間伐材を利用する企業を誘致する。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>★廃材を減らすこと、市内での雇用促進の効果が期待される。</p> <p>1) 太陽光パネルの設置に対する助成制度を充実させる。市のみならず国・県レベルとの連携も必要である。</p>
<p style="text-align: center;">ワークショップ状況(1班)</p> 	<p>○コンパクトなまち</p>	<p>1) 甲斐市のメインとなる拠点配置する。</p>	<p>1) 多様な世代が利用できる複合的な機能を持つ施設を拠点に集積させる。 2) 市民が参加できるイベントを増やす。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>★1つの大きな拠点をつくり、市民が集まることで、3町が合併した意義がある。そのためには、合併に対する市民の意識（特に高齢世代）も変えていく必要がある。</p>

甲斐市の現状について（要約）	「ゼロカーボンシティ」のテーマ	「ゼロカーボンシティ」の理想像	実現化する手法の提案
<p style="text-align: center;">良いところ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○特急に乗れる ○高速バスの発着場所がある ○山梨から県外への交通の便は良い（鉄道・高速バス・高速道路） ○割引がある（免許返納）タクシー <p style="text-align: center;">悪いところ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●渋滞が多い ●バスに誰も乗っていない ●県内の交通の便は悪く、車が無ければ移動出来ない車が多い ●自転車で移動するには凹凸が多い ●子どもが少ない ●空き家が多い ●市内バスの内容（ルート）時間など広報などで市民に詳しく知らせるべき 	<p>交 通 ・ 高 齢 者 ・ 子 ども</p> <p>誰もが住みやすいまち</p>	<p>○利用しやすい公共交通があるまち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者のための市民バスが充実しているまち ・高齢者が活動的に歩くまち <hr/> <p>○高齢者にやさしいまち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車を減らし、車がなくても生活しやすいまち ・二世帯、三世帯、多世代居住により、子どもから高齢者まで元気なまち <hr/> <p>○子どもを育てやすいまち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育ての場所が充実したまち ・子育てを学べる環境が充実したまち ・子どもが気軽に利用できる場所があるまち 	<ul style="list-style-type: none"> ・100円バスなどの割引制度の導入 ・ソーラーバス等の導入（防災面でも活用） ・電気バスに蓄電機能を装備し、防災に関連する ・利用しやすいバスルートの選定 ・市民バスのPR（バス停、ルート、時刻） ・市役所の職員がバスで出勤する ・自転車の駅をつくり、無料で乗れるシステムをつくる ・自転車が利用しやすい道路の整備 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・ゴミの分別の徹底 ・エコ教室による家庭でできる環境対策の周知 ・空き家の有効活用 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・母子家庭などが入居しやすい住宅の確保（空き家の有効活用） ・子育て教室等の実施 ・公園にソーラーパネルを設置して、公園内の電力を確保
<p style="text-align: center;">ワークショップ状況(2班)</p> 			

甲斐市の現状について(要約)	「ゼロカーボンシティ」のテーマ	「ゼロカーボンシティ」の理想像	実現化する手法の提案
<p style="text-align: center;">良いところ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自然環境に恵まれている。 ○大きな公園(ドラゴンパーク、八幡公園等)がある。 ○大型店舗があり、利便性がある ○人々が交流する機会(地区対抗スポーツ大会等)が多い。 <p style="text-align: center;">悪いところ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●道が狭い、整備されていない、老朽化が進んでいるなどで危険な箇所がある。 ●特に高齢者は車がないと生活に不便である。 ●ペットボトルが燃えるごみとして処理されているなど、ごみ処理の仕方が徹底されていない。 ●特に子育て世代や、移住者ともともと住んでいる住人との交流が少ない。 	<p>人と自然が共生し</p> <p>誰もが安全・安心して暮らせる</p> <p>未来へつながるまち</p>	<p>○ごみの削減 →ごみを減らし、正しく処理することにより、環境汚染を抑制する。</p> <p>○公共交通の充実 →自家用車での移動を減らし、バスの利用を増やすことにより、環境汚染を抑制する。</p> <p>○施設の集約・活用 →交流の場や商店街をつくることにより車移動を減らし、環境汚染を抑制する。</p> <p>○人にやさしい道路 →歩きや自転車での移動を増やすことにより、環境汚染を抑制する。</p> <p>○安全なまち →節電や再生可能エネルギーを利用することにより、環境汚染を抑制する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみの出し方を教える教育を行う。 ・ごみの分別やりサイクルを徹底する。 ・環境に対する教育を充実させる。 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・広報等でバス情報を広める。 ・ループバスの停留所を増やす。 ・バスの停留所にカート置き場を設ける等により、特に高齢者が利用しやすいようにする。 ・バス利用者にアンケートを行い、ルートを検討・改善を行う。 ・交通結節点をつくる。(全てのバスが竜王駅を通るようにする。) <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・交流の場をつくること、および車を利用せずとも生活ができるようにするため、地域の商店街をつくる。 ・子育て世代や高齢者の集いの場となるように空き家を活用する。 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・歩行者、自転車、ベビーカー、高齢者など、利用者が安全に移動できるよう、道路を整備する。 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・明るいまちにするため、街路灯のLED化を進める。 ・公共施設や街路灯にソーラーパネルを設置する。
<p style="text-align: center;">ワークショップ状況(3班)</p> 